

神戸市の公園緑地行政
～花と緑のまちづくり～

神戸市建設局

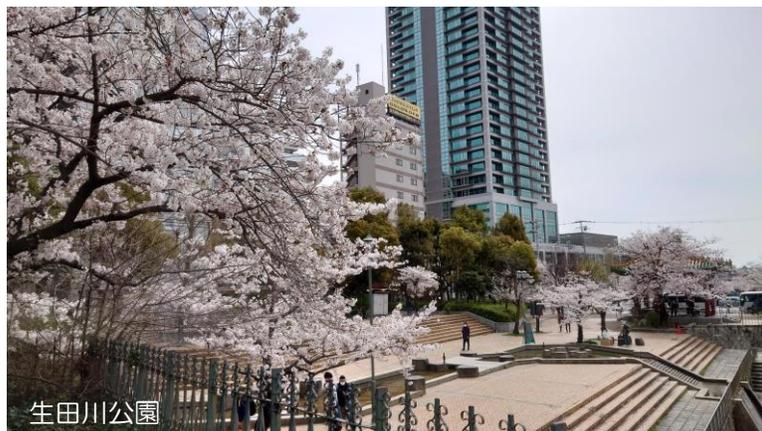


1. 公園緑地の基礎情報
2. 神戸市の造園職
3. 公園
4. 街路樹
5. 六甲山と六甲山系
6. 緑花施策



1. 公園緑地の基礎情報





	身近な公園 住区基幹公園		大規模公園含む 都市基幹公園等		全体		一人当たり公園面積 m ² /人
	箇所数	面積ha	箇所数	面積ha	箇所数	面積ha	
全国	97,645	35,049	15,071	94,138	112,716	129,187	10.7
神戸市	1,530	670	161	1,923	1,691	2,593	17.1

*神戸市の値は国営公園、県営公園、市民緑地除く

*全国はR3. 3. 31現在、神戸市はR4. 3. 31現在

公園数 1,691箇所 面積 2,593ha

政令市では公園面積と一人当たり公園面積は1位

*名古屋市のデータより





本数

中高木(本)	低木(本)	合計(本)
452,894	6,746,816	7,169,710

- * R3. 3. 31現在
- * 国土交通省所管分含む

樹種多い順TOP3

	高木	中木	低木
1	クスノキ	サザンカ	ヒラドツツジ
2	ケヤキ	トウネズミモチ	アベリア
3	イチョウ	ムクゲ	シャリンバイ



2. 神戸市の造園職



1. 公務員の造園職って？

大まかにいうと…

公園、緑地、街路樹の計画・整備・維持管理や
まちづくりにかかわる専門の職種

* 街路樹は自治体によって道路部局が担当のこともあります

造園職の採用がある公共団体

- 国土交通省、都道府県、政令市、特別区
- 上記以外の一部の自治体

* 造園職採用のない自治体は土木職員が兼ねることが多いようです

2. 神戸市で造園職として働くということ

KOBE

海と山、そして街。神戸市の技術職だからこそ
スケールの大きなまちづくりに携われます。

1

行政の技術職は、民間企業の技術職とは違い、計画から維持管理まで全てに携わります。

計画



設計



施工



維持
管理

2

地図に残るような、スケールの大きな仕事に携わります。



3

海・山・都心が密接に一体となった、全国でも神戸市だからこそ携わることができる、多彩な仕事があります。

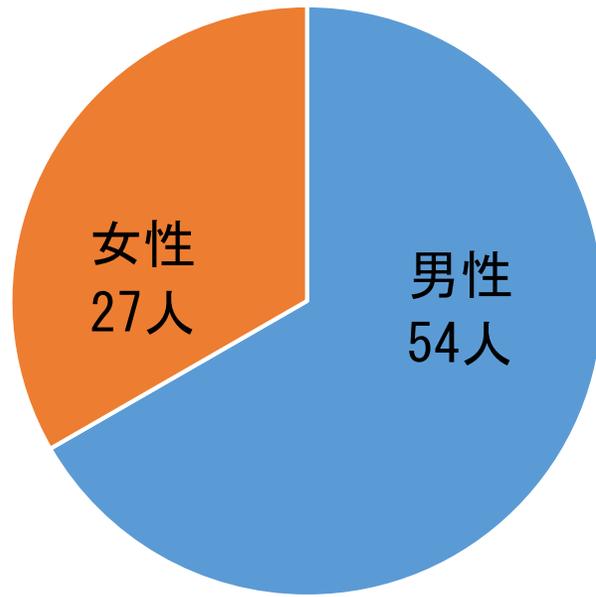


3. 造園職の人数・配置状況など

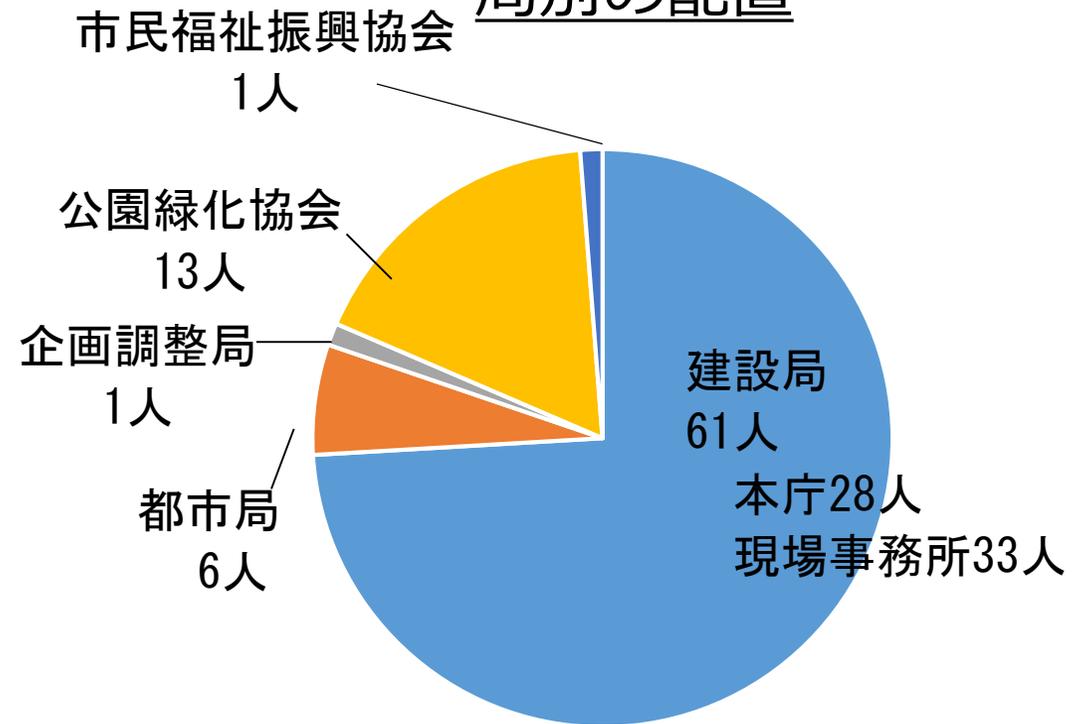
造園職の人数・男女比率

総数 **81** 名

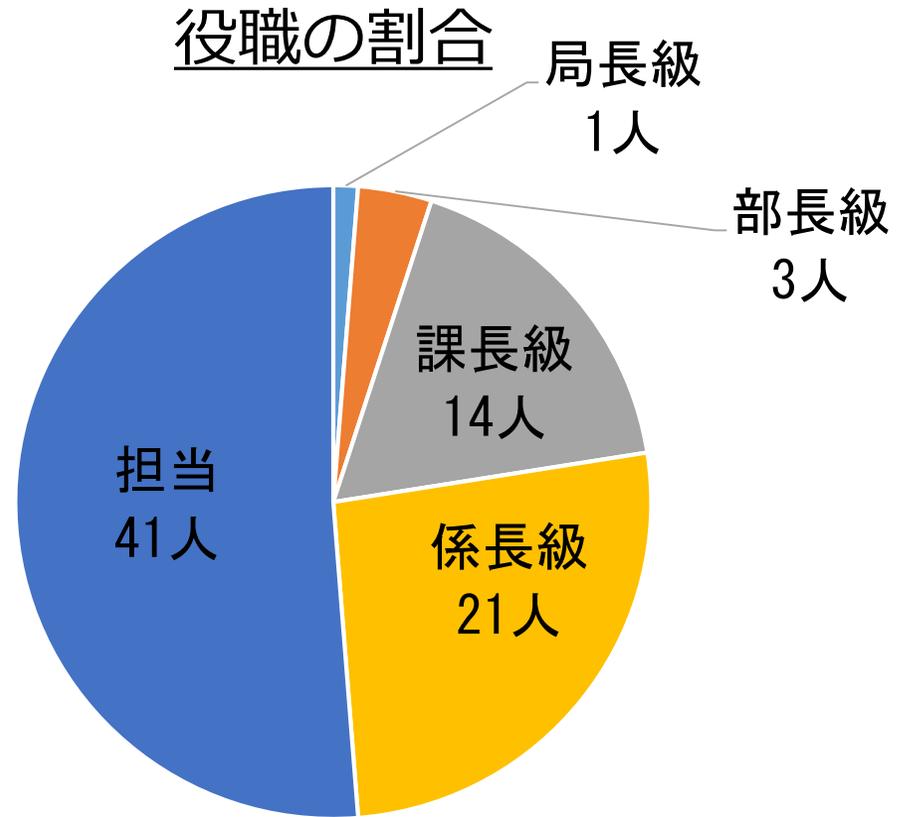
男女比率



局別の配置



3. 造園職の人数・配置状況など



4. 造園職の配属先

市長室
危機管理室
会計室
企画調整局－政策課

行財政局
文化スポーツ局
福祉局
健康局
こども家庭局
環境局
経済観光局

建設局－公園部、建設事務所、森林整備事務所、防災課、駅前魅力創造課
都市局－都心三宮再整備課、都市計画課、新都市工務課、景観政策課

建築住宅局
港湾局
消防局
水道局
交通局
教育委員会事務局
選挙管理委員会事務局
人事委員会事務局
監査事務局
農業委員会事務局
市会事務局
区役所

神戸市外郭団体 – (公財) 神戸市公園緑化協会、(公財) こうべ市民福祉振興協会

造園職 **81** 名
(赤字は造園職の配属先)



4. 造園職の配属先

- 市役所本庁
- 現場事務所
- (公財)神戸市公園緑化協会
- その他



森林植物園

東部建設事務所

(東灘区、灘区)



市役所本庁

建設局: 管理課、計画課、整備課
 森林整備事務所、防災課、
 駅前魅力創造課
 都市局: 都心三宮再整備課、工務課
 景観政策課
 企画調整局: 政策課



総合運動公園
神戸市緑化協会本部

垂水建設事務所

(垂水区)

須磨離宮公園

西部建設事務所

(長田区、須磨区)



中部建設事務所

(中央区、兵庫区)

森林整備事務所

神戸市民福祉振興協会
しあわせの村

西建設事務所

(西区)

北建設事務所

(北区)

4. 主な配属先の業務内容

心す

KOBE

○建設局公園部

全体的な方向性をとりまとめます。

★管理課

- ・公園の管理・利活用に関すること。
- ・美緑化ボランティアなど、市民との協働の緑化に関すること など

★計画課

- ・緑の基本計画など、公園緑地に関する計画・調査に関すること
- ・国や他都市との連絡・調整
- ・開発に伴う公園整備、緑化の指導
- ・法令に基づく自然環境の保全、指導 など

★整備課

- ・公園の維持・補修、安全な利用に関すること
- ・街路樹に関すること
- ・公園工事の設計及び工事に関すること
- ・災害復旧のとりまとめ など



花時計の植え替え



フラワーロードより六甲山系を望む



4. 主な配属先の業務内容

○建設局公園部

★森林整備事務所

- ・森林保護及び育成に係る調査、計画、工事
- ・六甲山のハイキングコースの維持補修
- ・市有林の維持管理 など



六甲山から市街地を臨む

○建設局防災課

★六甲保全係

- ・六甲山の森林整備に関する調査、計画の策定及び実施
- ・国や関係機関との連絡、調整
- ・公園部森林整備事務所との事業の調整 など



ハイキング道の管理



手入れされた森林

4. 主な配属先の業務内容

○建設事務所

所管する区内の公園や街路樹の管理を行います

★公園や街路樹の日常的な管理

- ・清掃、剪定、遊具の補修 など

★工事

- ・公園の新規整備
- ・公園の改修工事
- ・街路樹の更新工事 など

★市民とのつながり

- ・要望対応
- ・花壇づくりや公園管理などの協働作業 など



公園の新規整備(吉田町中公園)



公園づくりのワークショップ



市民との協働作業

4. 主な配属先の業務内容

○(公財)神戸市公園緑化協会

市民の緑化啓発、大規模公園の管理運営を行います。

★市民の緑化啓発・緑化活動支援

- ・イベントや市民花壇コンクールの実施
- ・緑化ボランティアの育成・支援 など

★公園緑地のマネジメント

- ・指定管理(須磨離宮公園、森林植物園、神戸総合運動公園)
- ・環境学習や市民との協働による里山保全活動
- ・花壇管理 など

★収益事業

- ・駐車場、売店、レストハウスなどを運営



まちなかを彩る花壇の管理



森林植物園



須磨離宮公園・民間活力を活用したダイニングカフェ

4. 主な配属先の取り組み事例（公園部）

KOBE

① Park-PFIの活用による須磨海浜公園の再整備



須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業のイメージパース



須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業各施設の配置図

② 東遊園地の活用と再整備



アーバンピクニック



東遊園地再整備イメージ



5. 主な配属先の取り組み事例（公園部・防災課・駅前魅力創造課）

①六甲山材の活用



六甲山の人工林



六甲山の間伐材を活用したトイレ（六甲山頂）

②駅前周辺の再整備・魅力化



このパースは、完成イメージであり今後変更の可能性があります。
神戸駅前広場再整備イメージ



生田川公園（新神戸駅前）再整備イメージ



5. 主な配属先の取り組み事例（建設事務所）

KOBE

①公園の整備



吉田町中公園新規整備



湊川公園再整備

②公園樹・街路樹管理



造園協会と共催の剪定講習会



旧居留地の街路樹(ケヤキ)

4. 主な配属先の取り組み事例 (神戸市公園緑化協会)

KOBE

①有料公園の管理



噴水とバラ園(須磨離宮公園)



早朝ヨガ(神戸市森林植物園)

②まちの飾花



スポンサー花壇(北野坂)



市民がつくる花壇(西神中央)

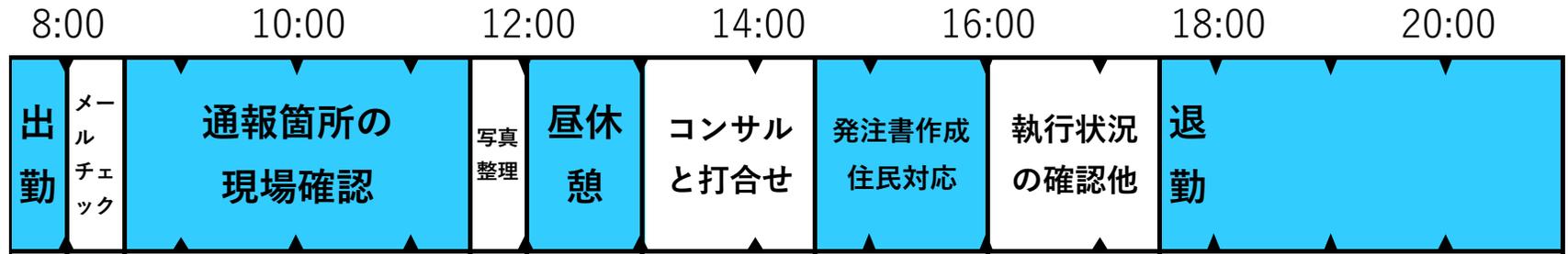


5. 造園職になってみて 3部署のとある1日のスケジュール

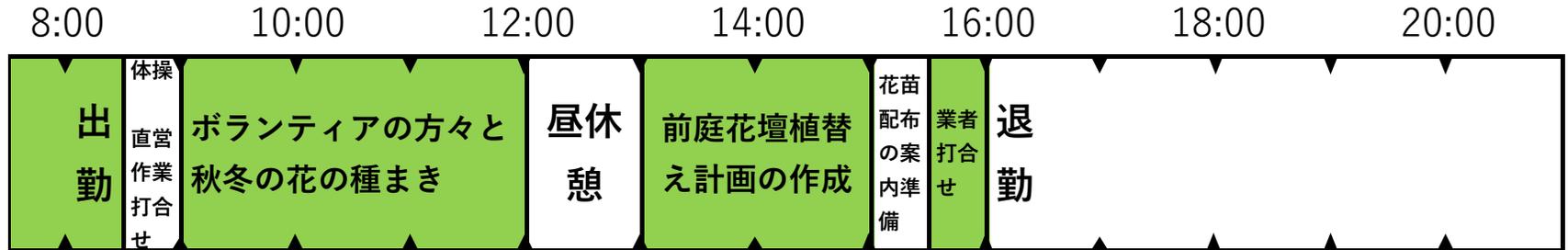
本庁 公園部整備課



建設事務所



外郭団体 神戸市公園緑化協会



*時短勤務中



5. 造園職になってみて (本庁部署)



4年目
公園部整備課

自分が関わった仕事が、形となって街に残るので達成感がある。

技術職と言えど、携わる業務が多いので多様なスキルを学ぶことができる。



4年目
公園部整備課



2年目
公園部管理課

民間の業者と話すことが多く、専門的な知識を持って打合せを行う必要があるため、日々勉強が必要だと感じる。

公園や木に対する地元の方々の熱い思いを知ることができる。
あと、神戸の地理に詳しくなるので、生活する上でも便利。



5年目
防災課

5. 造園職になってみて (建設事務所・外郭団体)

KOBE



3年目
建設事務所

自分が携わった公園改修工事の遊具や施設を利用する住民の方を見ると、達成感と喜びを感じる。

想像より多種多様な仕事内容。関わる人も多種多様。



4年目
建設事務所



1年目
建設事務所

コロナ禍の入庁で不安であったが、日々先輩職員から様々な事を学びながら、樹木管理・公園設計などの業務に携わり、やりがいや楽しさを感じられる。

今年度育児休業から復帰し毎日が瞬く間に過ぎていきますが、子育てをしながら仕事もこなし充実した日々を送ることができています。



7年目
外郭団体

* 当時

3. 公園



神戸市はこれまで、時代の変化に応じて、様々な公園の整備に取り組んできた

◆ 戦前からあるもの



◆ ニュータウン等の開発でできたもの



◆ 戦災復興でつくられたもの



◆ 震災復興で つくられたもの



◆ 提供公園と してできたもの



① 六甲山と東遊園地

神戸の公園の原点は**六甲山と東遊園地**。
近代化を進める中で、様々な機能を備えた
オープンスペースとして公園を整備



② 災害の経験

度重なる水害や戦災、阪神・淡路大震災を
経験。復興の過程での公園整備が新しい街づ
くりには大きな役割を果たす



③ 協働と参画

市民との協働と参画による公園の整備や管
理運営も大きな特徴



「グリーンコウベ作戦」

宮崎元市長が提唱。昭和46年にスタート。

「市街地の3割を緑化することが、市民の健康を高めるために必要な最も重要な都市政策」

目 標

- ①市域の7割を緑地として保全
- ②市街地の3割を緑化
- ③年間100万本の植樹

5本の柱

- 市街地の緑化
- 背山の緑化
- 団地等の緑化
- 臨海地域の緑化
- 市民参加の緑化



	昭和46(1971)年度末	令和3 (2021)年度末
箇所数	290	1,694
面積ha	382.7	26,468.8
一人当たり公園面積m ² /人	2.92	17.45

*国営公園、県営公園、市民緑地含む



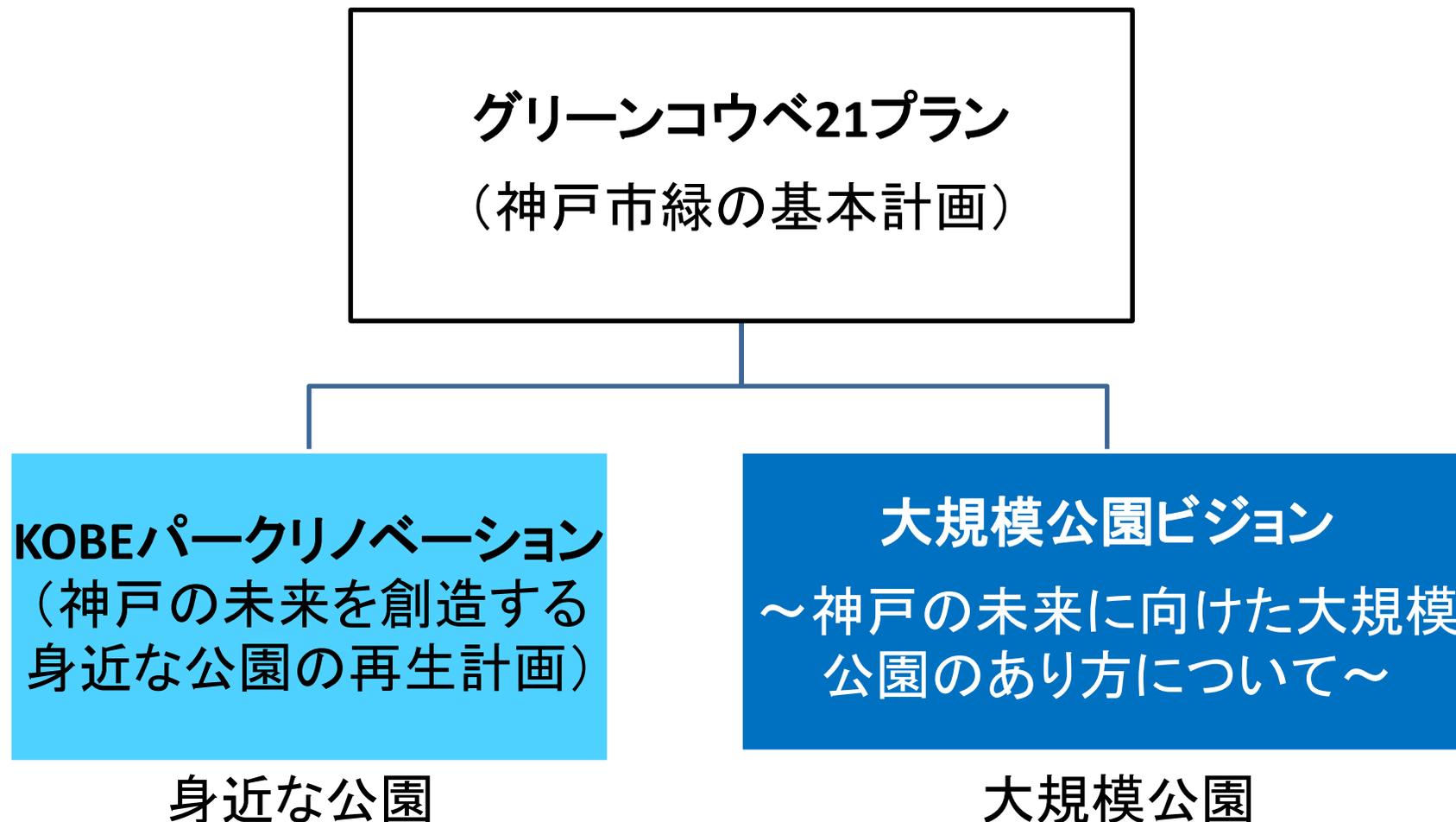
少子高齢化により税収↓ 社会保障費↑

老朽化により施設の改修費↑ 維持管理費の増大↑



新しく作る時代から、メンテナンスとリノベーションの時代へ





①公園の整備面での課題

- 公園不足地への対応
- 小規模な公園の増加
- 都市再生への対応

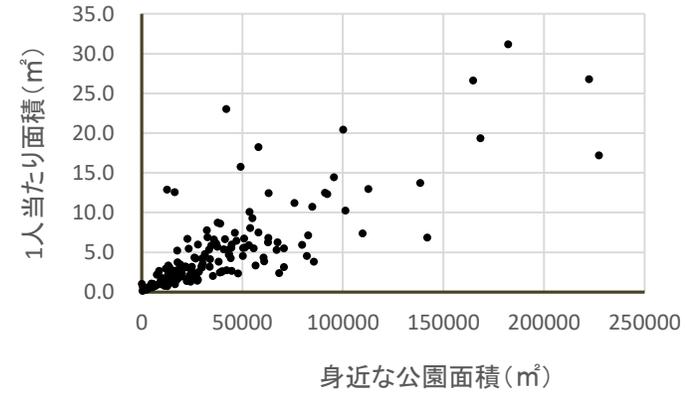
②施設や役割といった面での課題

- 画一的な公園機能への対応
- **利用者の減少と地域ニーズの変化**
- 防災や防犯への対応
- **公園施設の老朽化**

③維持管理面での課題

- **維持管理の担い手の高齢化**
- 公園のにぎわいの不足とコミュニティ力の低下
- **維持管理費の増加**

身近な公園面積及び1人当たり面積
(小学校区単位)



遊具の3種の神器
(ブランコ、滑り台、砂場)

KOBEパークリノベーション
(神戸の未来を創造する身近な公園の再生計画)

平成30年2月
神戸市




↑詳細はこちら

① 計画

<新たな時代を見すえた計画>

(これまで)

戦災復興や震災復興など、社会情勢に応じた公園整備を実施

→少子高齢化など、変化し続ける社会情勢に対応した新たな時代の公園を計画する

② 機能

<市民に愛される公園の機能>

(これまで)

公園種別・面積に応じた標準モデルごとに同様の機能を配置

→地域の需要に応じて必要とされる機能を発揮させる

③ 配置

<地域の状況に応じた公園の配置>

(これまで)

近隣住区理論に基づき、一律に配置

→種別・広さにこだわらず有効に公園を配置する

④ マネジメント

<公園を使いこなす管理運営>

(これまで)

公園ごとに地域住民と行政が役割分担し維持管理を実施

→公園を地域主体でマネジメントし、まちづくりとの連携も検討する

モデル事業

モデル事業-1

にぎわいのある公園づくり

モデル事業-2

ストックを活用した公園づくり

モデル事業-3

市民が主役の公園づくり



モデル事業-1

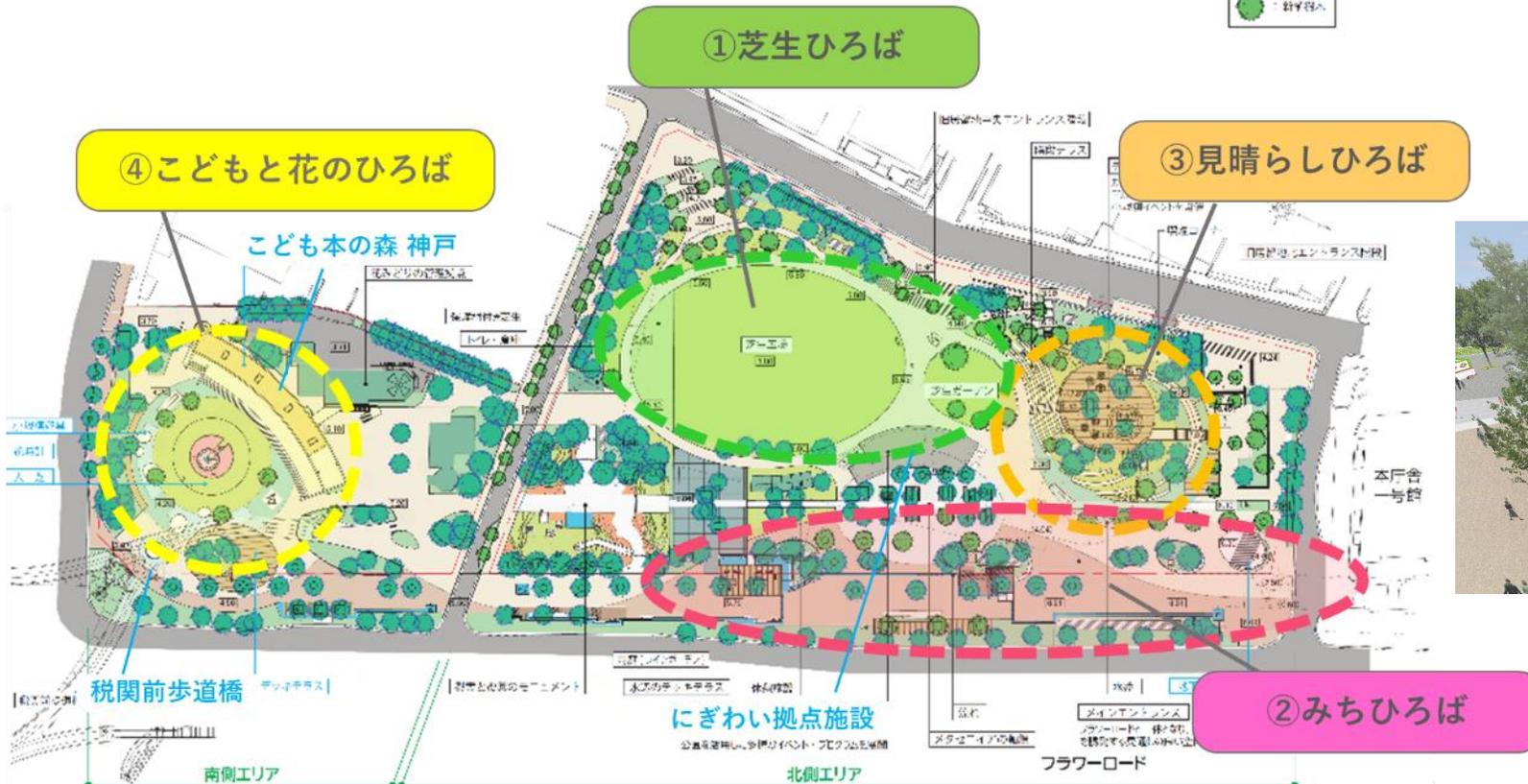
モデル事業-1 にぎわいのある公園づくり



モデル事業ー1 東遊園地の再整備

P-PFI制度を活用し、公園全体の再整備を実施

■東遊園地再整備計画図



BE KO



モデル事業ー1 こどもの遊び場拠点

<現状>

- ネットあるいはゲームなど、バーチャルな世界での遊びが進歩し、子どもが屋外の遊び方を知らない
- 子どもにとって魅力的な遊び場になっていない公園もある

【小学生のインターネット利用時間(平日1日当たり)】 (単位:%)



(平成28年度青少年のインターネット利用環境実態調査より)

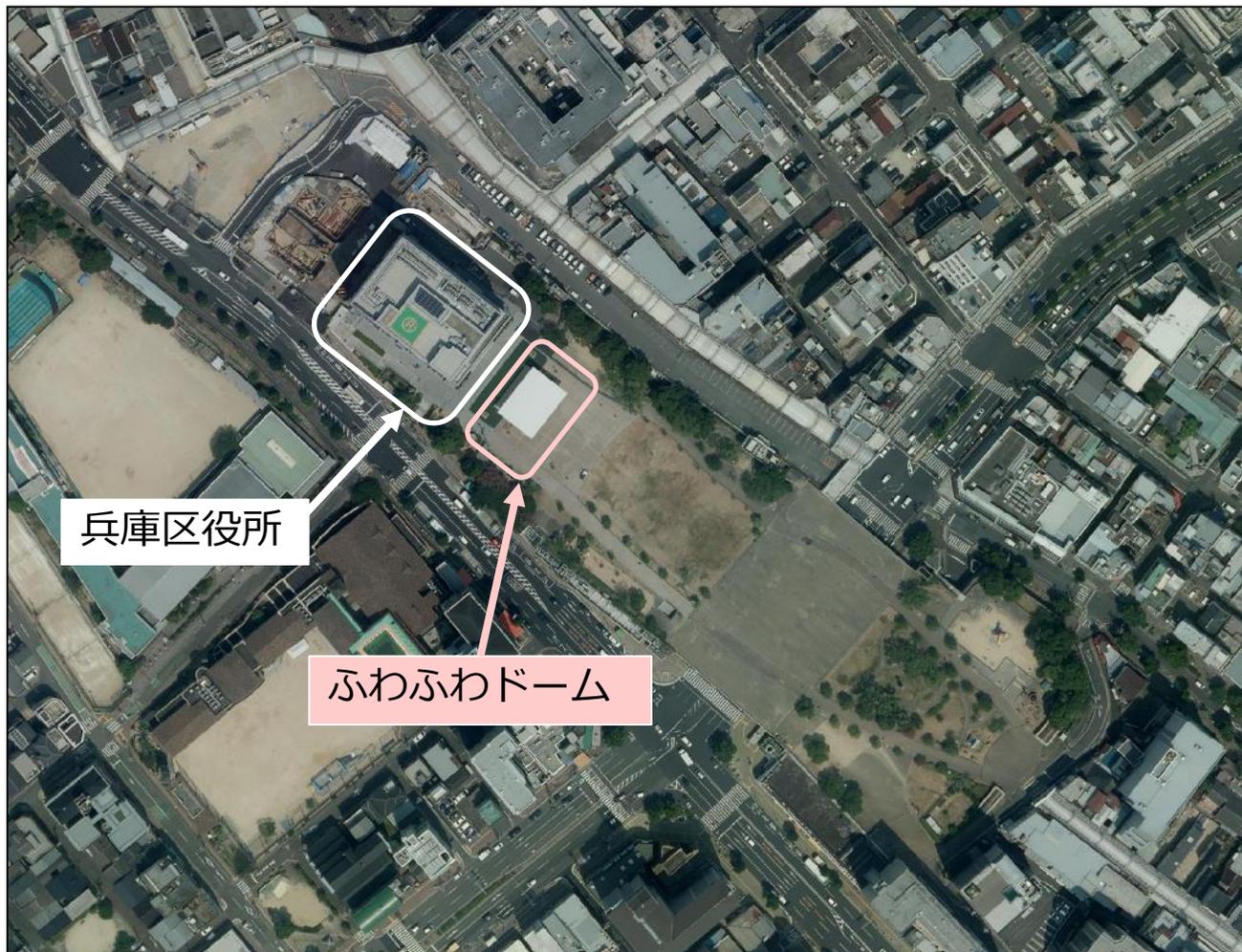
<課題>

- こどもの体力低下や五感の鈍化
- 集団で遊ぶ中で育まれる社会性を身に付ける機会の喪失

<with/afterコロナ>

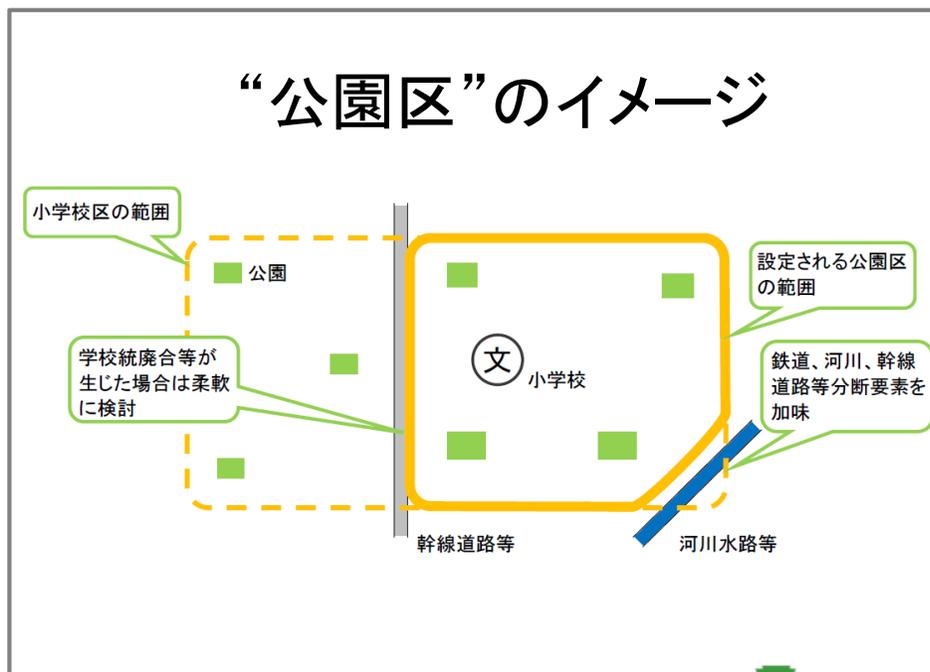
- オープンスペースの重要性が再認識

モデル事業ー 1 湊川公園の再整備



モデル事業ー 2

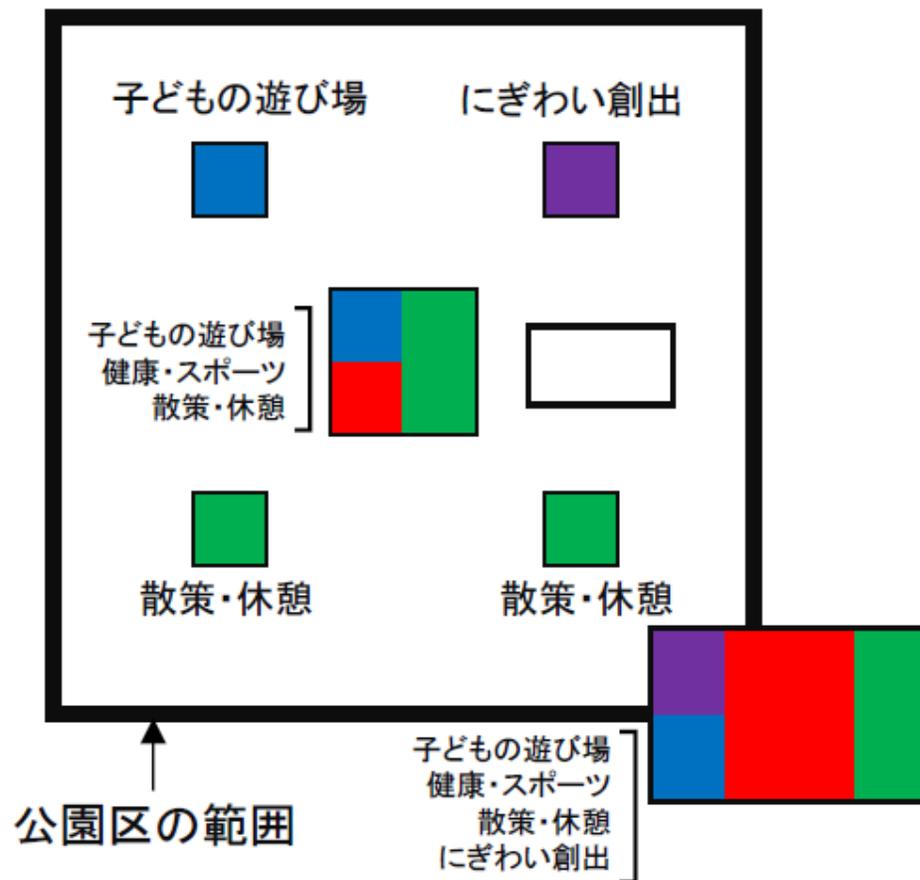
モデル事業ー 2 ストックを活用した公園づくり



モデル事業ー2 公園機能の分担や再編

大切な視点

地域のニーズ
必要な機能
管理コスト



KOBEパークリノベーション

モデル事業ー2 多聞台中央公園ほか2公園

垂水区多聞台団地の3公園(多聞台中央公園・松が池公園・多聞台東公園)の機能再編を行う。



現在の状況



モデル事業ー 3

モデル事業ー 3 市民が主役の公園づくり



モデル事業ー3 ローカルルールづくり



(高倉台公園／須磨区)



(東川原公園／北区)

球技などを含めた 公園のローカルルールづくり





市内18公園の大規模公園＋再度公園＋相楽園

項目	具体的な内容
1. 効率的・効果的な公園運営	<ul style="list-style-type: none"> ① 老朽化・陳腐化の急速な進行 ② 限られた財源の中での整備・管理運営の順位付けの必要性 ③ 長期未開園エリアの存在
2. 持続可能な社会実現への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ① 地球温暖化等様々な環境問題への対応(環境負荷の軽減) ② 在来種の生息・生育空間の確保、外来種への適切な対策 ③ 環境学習等の教育機能の向上への対応
3. 自然災害への対応	<ul style="list-style-type: none"> ① 自然林の手入れ不足等による防災力の低下 ② 防災拠点施設の機能強化の必要性 ③ ハザードマップ上の危険箇所への対策
4. 周辺地域や近隣施設との連携	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域コミュニティへの情報発信や機会提供不足 ② 近隣施設等との連携不足
5. 観光振興への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ① 案内の多言語化やICT活用等の対応の遅れ ② 公園資源の魅力減退による都市間競争力の低下 ③ 風致景観を形成する緑と歴史文化資源との一体的保全・活用
6. 協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 市民やNPO等による協働活動への参加促進 ② 民間事業者等による資金やノウハウの活用



大規模公園ビジョン
Large-scale Park Vision
～ 神戸の未来に向けた大規模公園のあり方について ～

令和3年3月
神戸市




↑詳細はこちら

基本方針	施策展開イメージ
<p>1 都市を守るグリーンインフラの保全と育成</p>	<p>①都市公園と緑地保全の事業・制度をバランスよく採り入れながら、良好な樹林地の保全と育成を図る ②減災や気温低減、生物多様性の確保、美しい景観づくり等に寄与する取組みを行う ③様々な災害や非常時に対する備えを強化</p>
<p>2 みんなに愛されるゆとり空間の創出と充実</p>	<p>①みんなが居心地良く充実した時間を過ごせる空間をつくる ②神戸を代表するスポーツ・遊び・健康づくりの拠点として更なる魅力向上を図る ③公園界隈や近接する施設等と連携して公園を地域に開く ④森林や水辺など豊かな自然環境を活かした環境学習や自然体験の場を提供</p>
<p>3 KOBE ブランド構築に貢献する公園文化の発信と展開</p>	<p>①歴史、文化などの資源や神戸が経験してきた災害の記憶や教訓を継承・活用するとともにこれらを神戸のアイデンティティーとして市内外に広く発信 ②海・まち・山をあわせ持つ特徴的な地形を活かし、神戸の魅力を発信する個性の光る公園を目指す ③複数の大規模公園や周辺施設等の連携により KOBE ブランドの構築に貢献</p>
<p>4 持続可能な公園運営を実現するための改革と連携</p>	<p>①民間活力を導入することで利用者サービスの向上と維持管理の効率化を図る ②地域や市民団体との協働により愛着を感じる公園に育てる ③教育・研究機関との連携により公園資源の価値を高める ④人口減少等社会情勢の変化に合わせて施設や管理方法を改善 ⑤時代のニーズを捉えて用途や区域を見直す</p>



海浜公園再整備

P-PFI制度を活用し、公園全体の再整備を実施



4. 街路樹



道路の樹木

高木・中木・低木

常緑樹・落葉樹



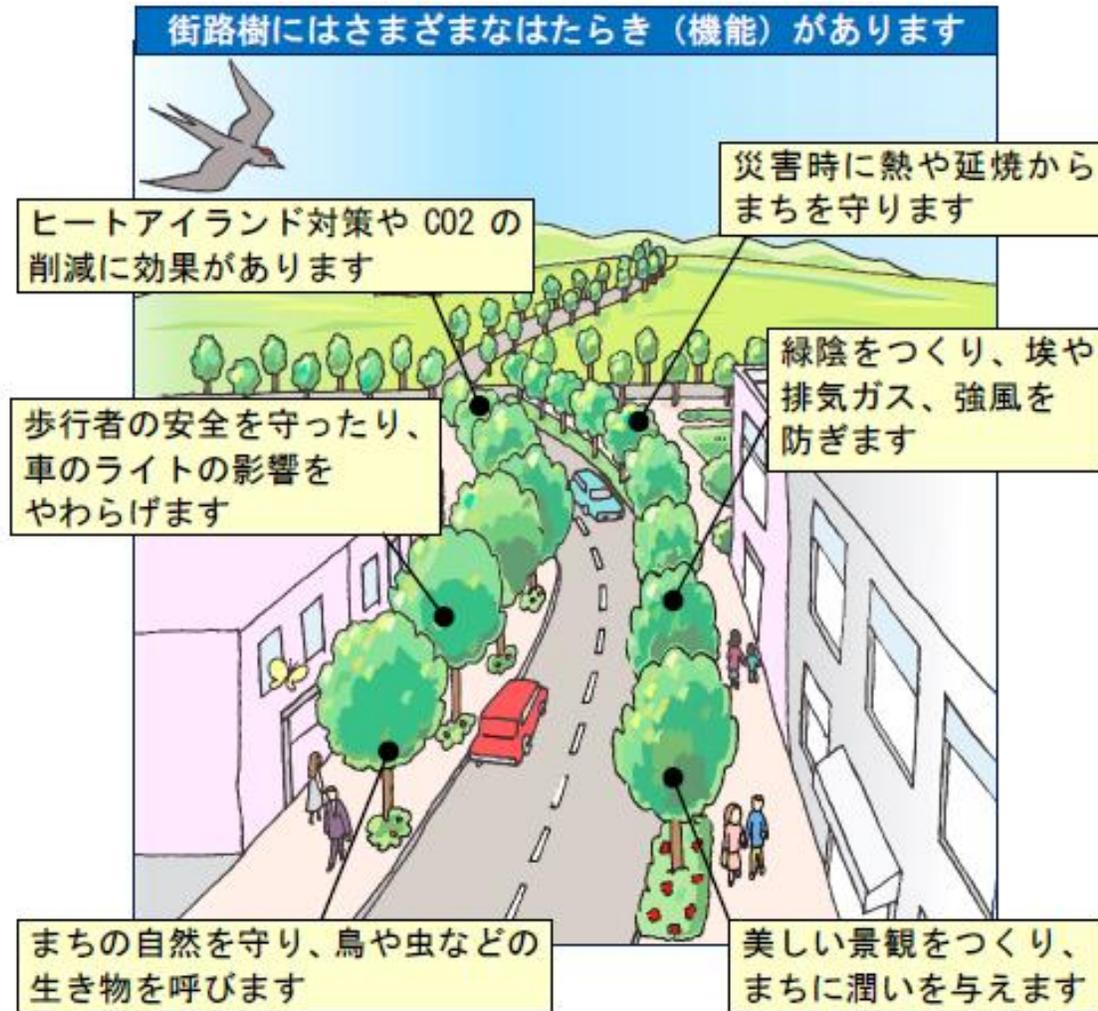


図 1-3 街路樹のはたらき



写真 1-1 グリーンコウベ作戦の成果
山手幹線（県庁前）の変化



「グリーンコウベ作戦」

宮崎元市長が提唱。昭和46年にスタート。

「市街地の3割を緑化することが、市民の健康を高めるために必要な最も重要な都市政策」

目 標

- ①市域の7割を緑地として保全
- ②市街地の3割を緑化
- ③年間100万本の植樹

5本の柱

- 市街地の緑化
- 背山の緑化
- 団地等の緑化
- 臨海地域の緑化
- 市民参加の緑化



グリーンコウベ作戦の成果

山手幹線（県庁前）

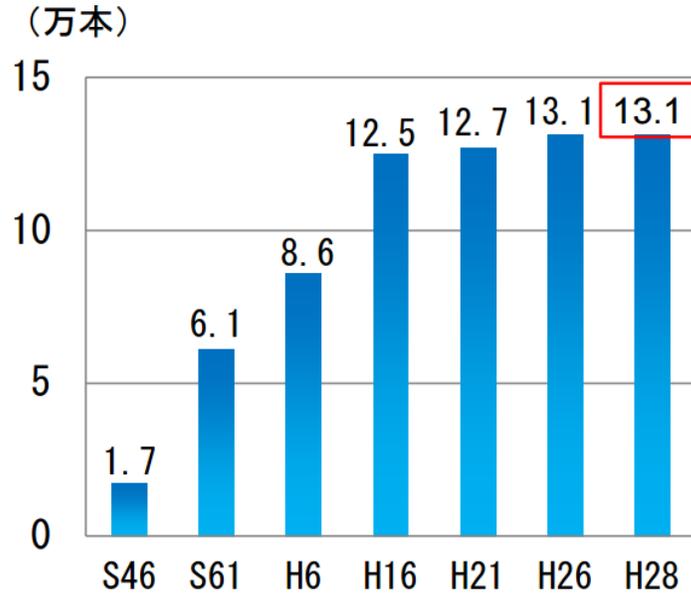
グリーンコウベ作戦開始当初



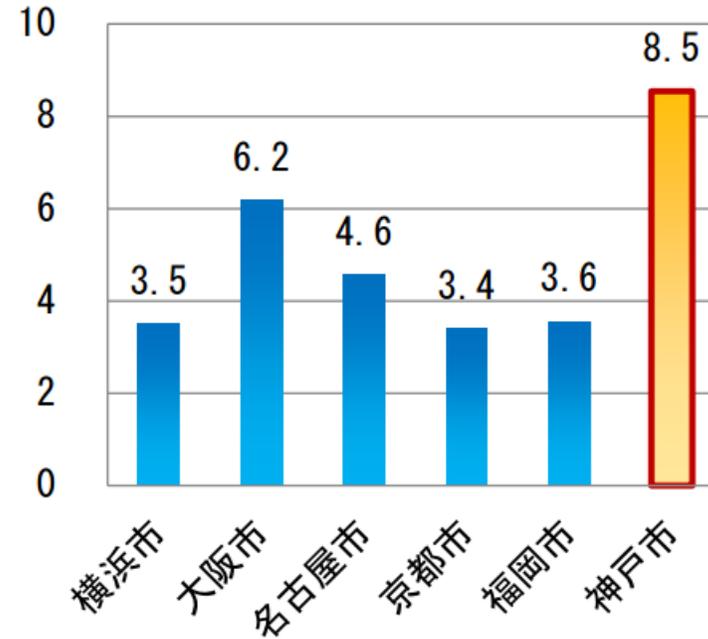
現在



グリーンコウベ作戦の成果



街路樹(高木)本数推移



人口100人あたりの街路樹(高木)本数



フラワーロード(税関線)

(樹種:クスノキ・イチョウ)

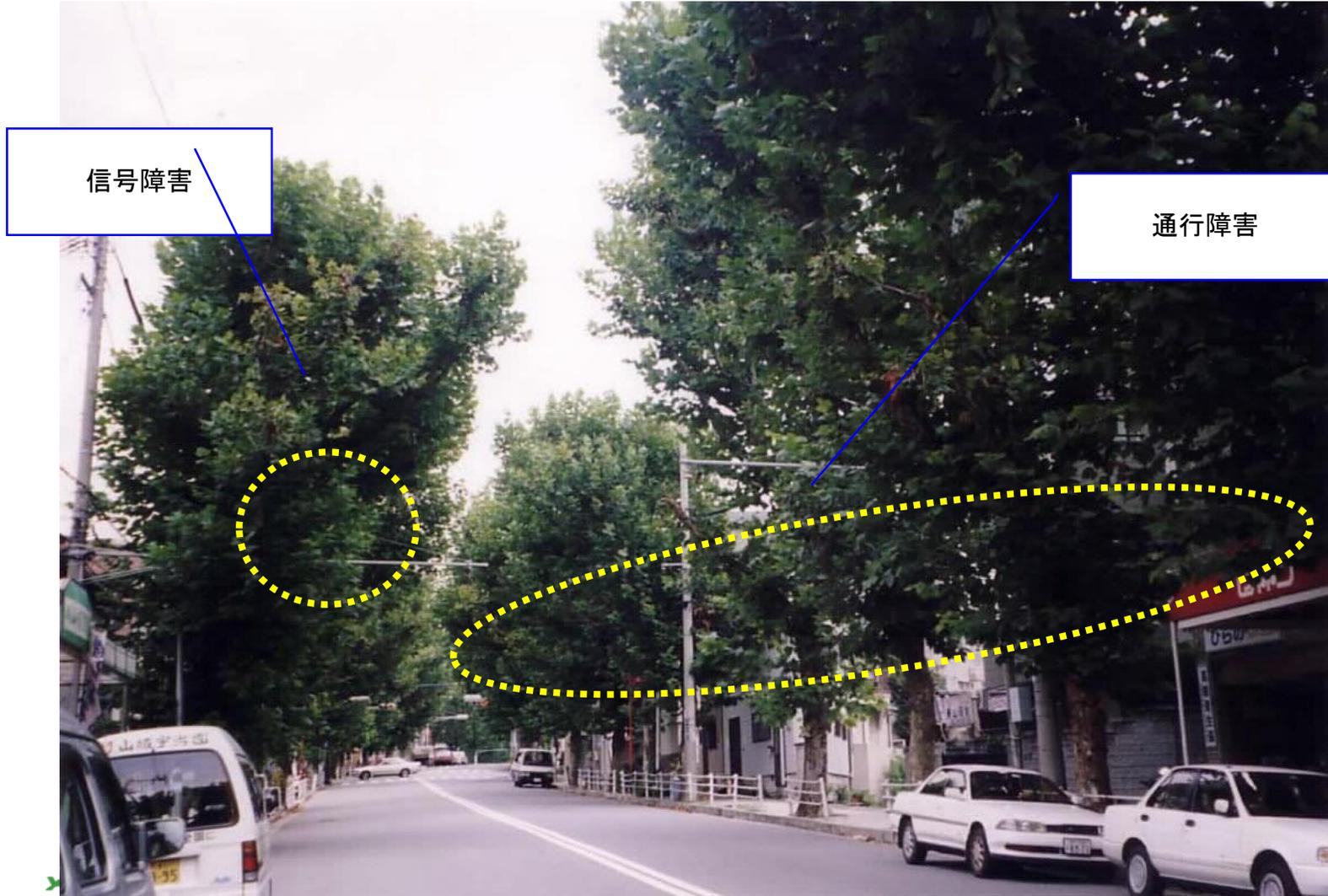


旧居留地周辺〔中央区浪花町・明石町ほか〕

(樹種:ケヤキ・クスノキ・イチョウ・イスノキ)



街路樹の枝葉による照明灯や信号等への支障



街路樹に対する市民意識の調査

平成28年6月実施

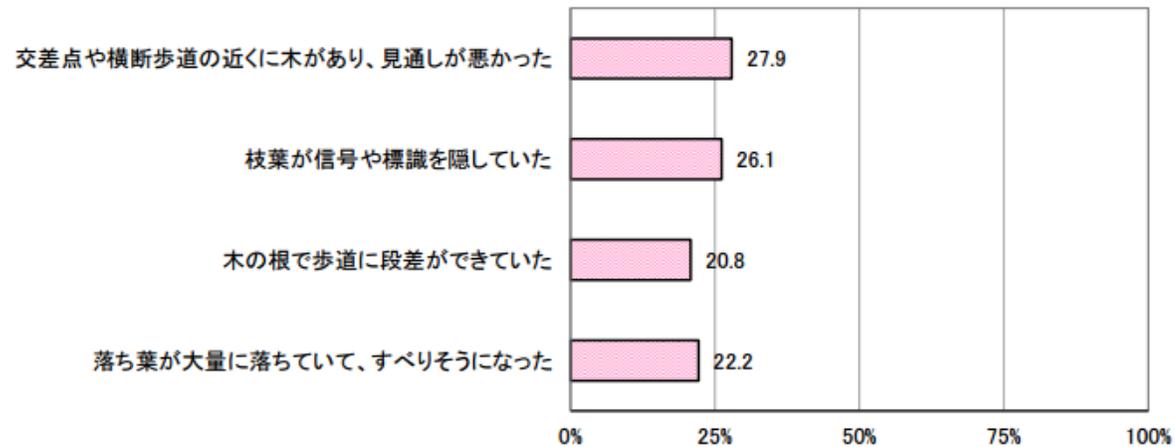


図 2-3 街路樹が原因で道路通行の支障となっている感じたこと

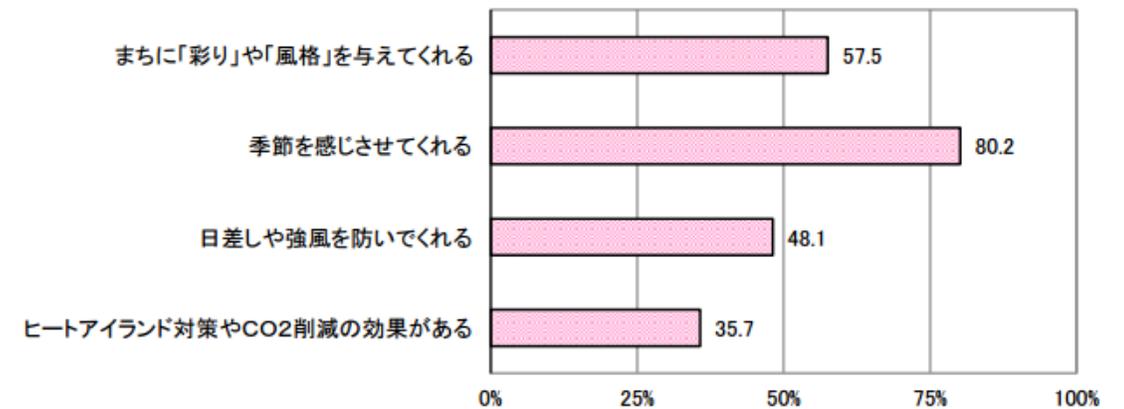
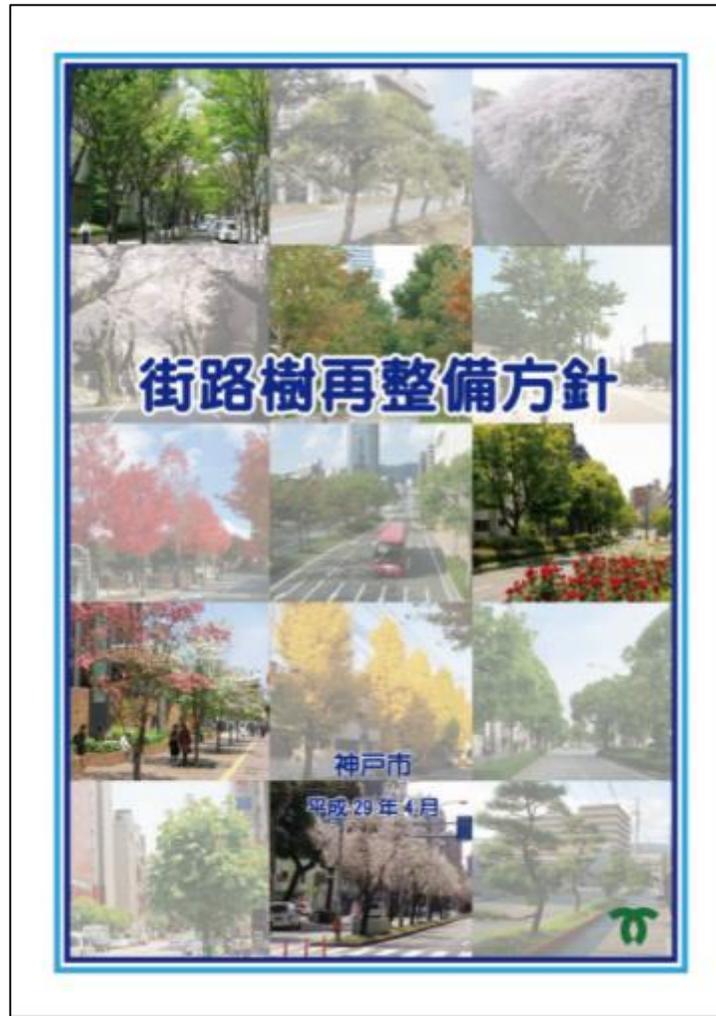


図 2-2 お住まいの地域の街路樹について感じていること

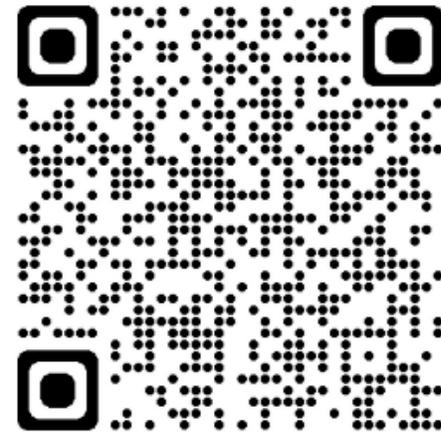


街路樹再整備方針

平成29年4月 街路樹再整備方針を策定



これまでに培われた街路樹を守りながら、健全で安全な街路空間を目指す



↑詳しくはこちら



再整備方針1 まちなみと調和のとれた健全な街路樹の育成

① 大木化、老木化した街路樹の計画的な撤去、更新

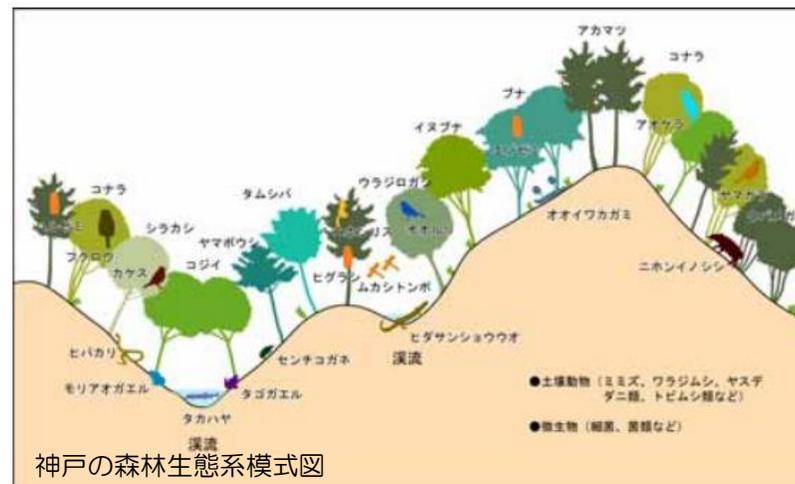
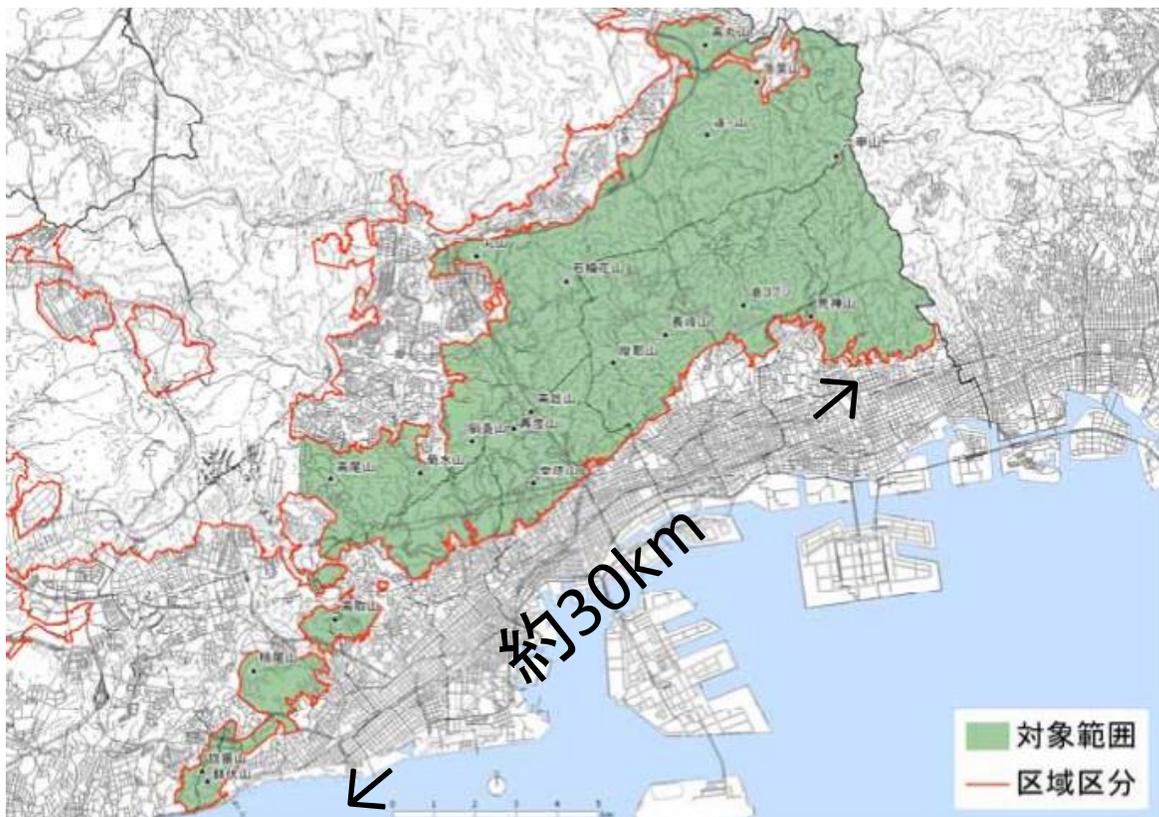
- 台風等での倒木の可能性が高く、大木化し、樹木診断や毎年剪定している樹種について、計画的な更新を進めます。
- 著しい根上がりの発生している樹木について地域の状況に応じた更新を図ります。

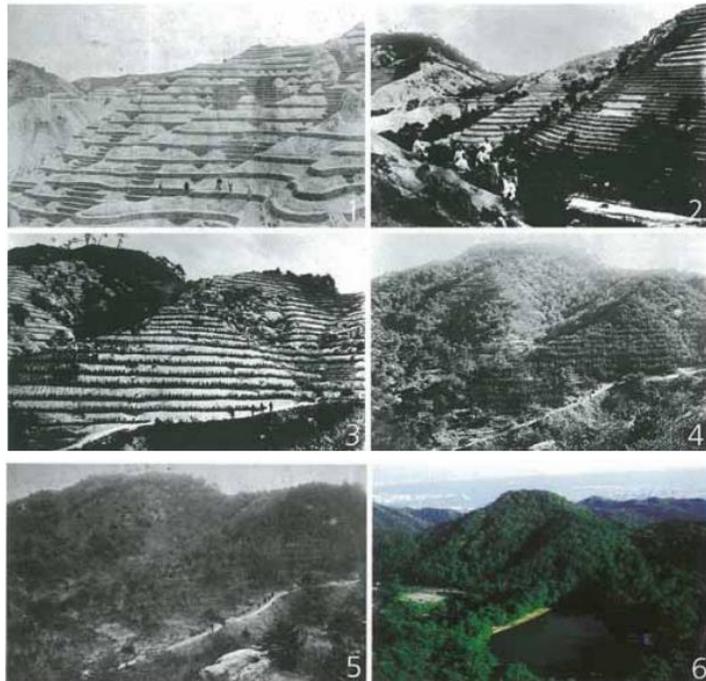


5. 六甲山と六甲山系



市民の暮らしに密接に結び付いた山＝「都市山」





- ・本多静六氏助言の下、1902年から植林事業をスタート

- ・1915年までに約334万本の樹木が植栽された

* 写真は再度山

- ・樹種や樹齢の多様性が欠けている

- ・手入れが十分にされず、荒廃が進んでいる箇所もあり、土砂災害の発生や病虫害の発生、景観の悪化が懸念される

100年以上経過し、
新たな課題が

→これまでの取組みを継承しながら、多様な樹齢・樹種で構成される森林を維持・再生するために、市民・事業者・行政などがともに目指す森林の将来像に対する合意形成を図るとともに、長期的な取組みを示すことが必要

グリーンコウベ21プラン
(神戸市緑の基本計画)

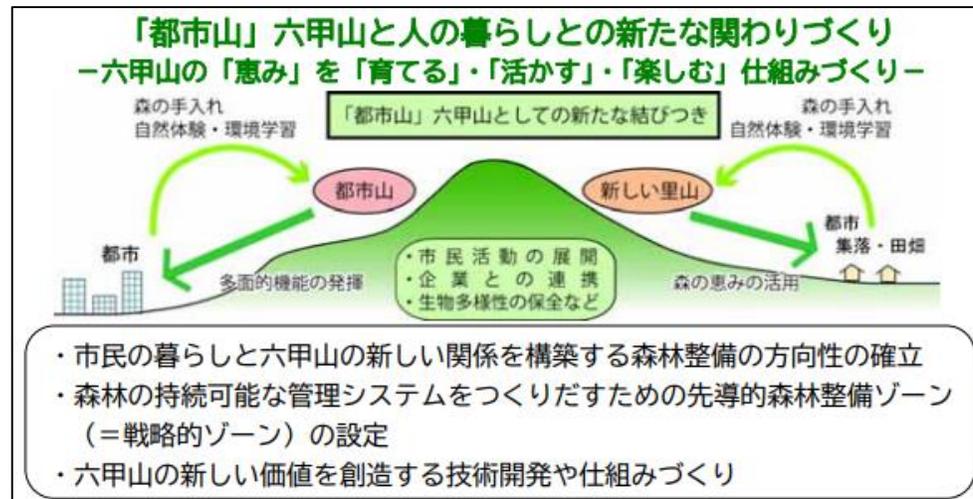
六甲山森林整備
戦略



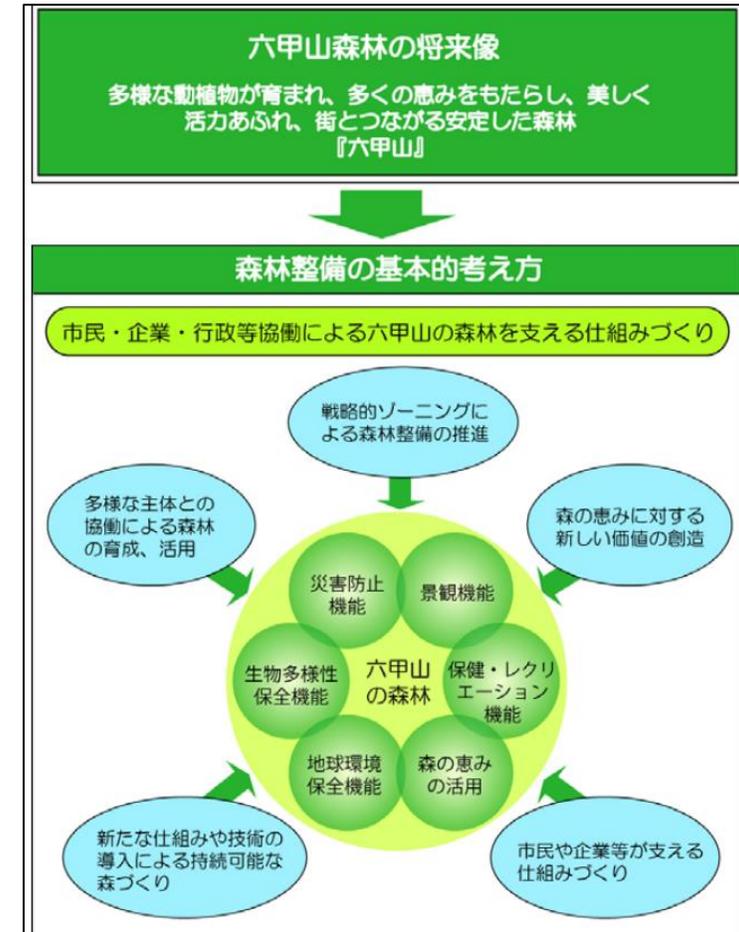


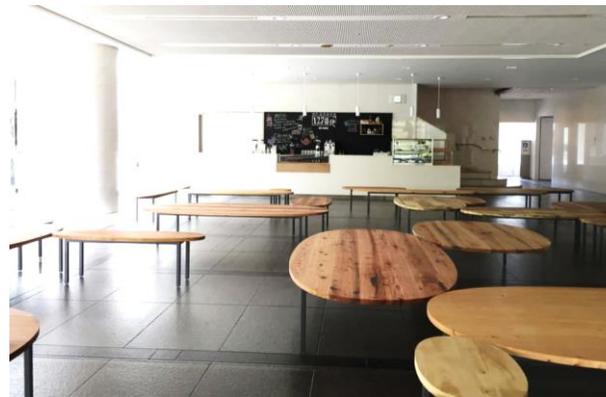
↑詳細はこちら

目的



将来像





6. 緑花施策





学園駅前(学園西町)



ステップbyステップ(中央区港島)



舞子台緑地公園(舞子台)



松林街園花壇(住吉東町)



三宮駅前 デッキガーデン



朝日会館前



フラワーロード



スポンサー花壇 銘板



花時計



朝日会館前



花のpromenade(マルイ前)



三宮交番前



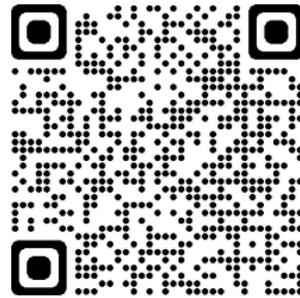
最後に・・・



神戸市HP

■職員採用HP

<https://www.city.kobe.lg.jp/information/shokuinsaiyou/saiyou/index.html>



■造園職採用HP

<https://www.city.kobe.lg.jp/information/shokuinsaiyou/saiyou/work/work09.html>



■マイナビHP

<https://job.mynavi.jp/24/p/c/search/corp248804/outline.html>

